

# 高 駿



第47号 2018.6.24

神奈川県立秦野高等学校同窓会会報



# 《思い出のシリーズ》 “あの時の皆さん”



**青春群像** 平成の幕開けです。1989年・平成元年の卒業生たちです。ソ連・チェルノブイリ原発爆発、青函トンネル、東京ドーム完成、瀬戸大橋、国鉄民営化、ソウル五輪、スーパーマリオブラザーズ、おニャン子クラブ、村上春樹『ノルウェイの森』がベストセラー、アサヒスーパードライ等々。この時代、様々なブームが起きました。懐かしいとお思いの方々も、今、40代後半です。様々な所でご活躍をされていると思います。高校3年間の中で、話題になった「言葉」を並べてみました。勿論、これだけではないと思います。この紙面では、埋め尽くすことができないほどの出来事、思い出がたくさんあったのではないかと思います。皆さんの青春時代を思い起こす“きっかけ”になれば幸いです。

## 同窓会会報第47号目次

表紙 題字 宮本 信義 (中5回)  
スケッチ「中庭コートでスマッシュ」  
岡村 泰成 (高6回)

総会のご案内 本部役員名簿案	1
平成29年度事業報告・決算報告	2
平成30年度事業計画・予算案	3
平成29年度総会報告	4
チアリーディング部全国で活躍	4
ごあいさつ 校長 今田浩二	4
同窓会会長 畑野公保	5
退任ごあいさつ 前校長 神戸秀巳	5
副校長 久保寺忠夫	6
青春かながわ校歌祭	7
支部だより	8
在職中の思い出	10
同期会だより	11
広畑が丘空晴れて	12
シリーズ 杉山長風先生の記念講演	14
部活動報告	15
母校2017年度進路状況	16
叙勲・春の異動・物故者など	18



### 総会へのお誘い

平成30年度総会は、ホテルサンライフガーデンで平塚支部の皆様にご設営していただきました。会員各位のご参加をお願いします。

平成30年度 秦野高等学校同窓会

## ～ 総会のご案内 ～

日時 6月24日(日)

場所 ホテル サンライフガーデン  
平塚市榎木町9番41号

TEL (0463) 21-7111

### 総会日程

#### 総会日程

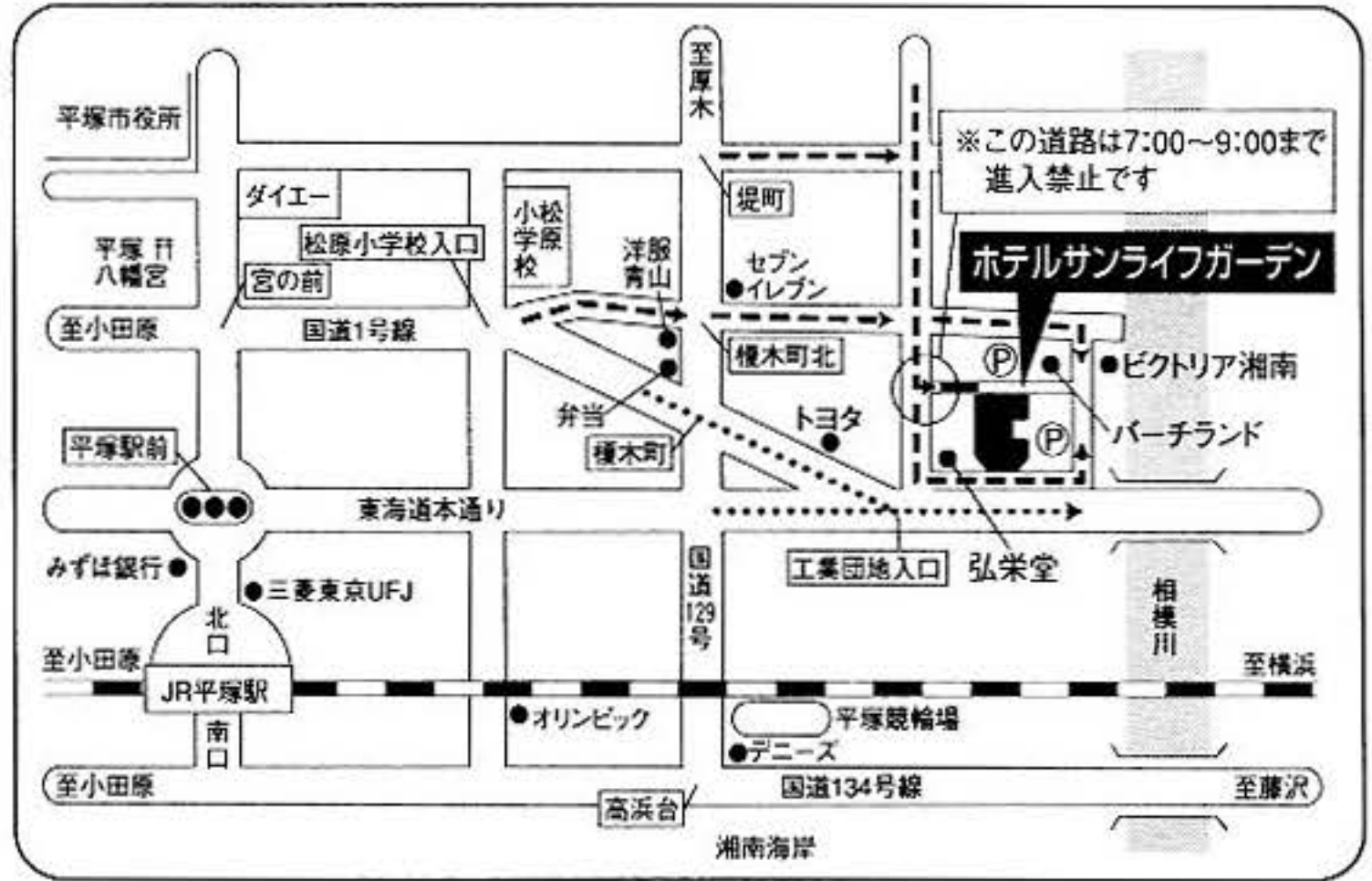
A.M.10:30 受付  
11:00 総会

- 29年度事業報告及び決算報告
- 30年度事業計画及び予算審議
- その他

#### \* 総会終了 懇親会

- ・ 会費 5,000円 (当日納入)
- ・ 形態 着席コース料理
- ・ 宿泊 前日・当日 (朝食付・7千円)

- ・ 申込 会場準備の都合上、出席者は「卒業期」と「氏名」を平塚支部 出縄まで 電話・FAX 0463-33-3121 (留守電対応) ※申し込みは6月10日まで



#### 会場へのご案内

- ◆バス 平塚駅北口前ロータリー9番線乗り場  
茅ヶ崎駅行き・馬入橋下車
- ◆シャトルバス 平塚駅北口前ロータリー  
一般車乗降場発車時刻 9:15 9:45 10:15 10:45 11:15
- ◆徒歩 平塚駅北口から約15分

### 県立秦野高等学校同窓会本部役員名簿(案)

【顧問】	畑野 公保 (高7)	伊勢原
【会長】	桐山 昌幸 (高15)	秦野
【副会長】	久保寺忠夫 (高28)	秦野 田中 信一 (高18) 伊勢原
	杉山 鎮夫 (高12)	平塚 中津川福蔵 (高13) 小田原
	長沢 孝治 (高13)	東京
【支部長】	高橋 昇三 (高13)	秦野 吉野 富夫 (高27) 伊勢原
	小川喜久雄 (高28)	平塚 安藤 誠二 (高14) 小田原
	飯尾 美甫 (高8)	東京
【会計】	谷 富雄 (高20)	秦野 平田 真一 (高28) 伊勢原
【会計監査】	今井 勝重 (高29)	伊勢原 小島 俊英 (高27)
【校内幹事】	相原 芳夫 (高23)	河野 治行 (高29) 今井 公彦 (高29)
【事務局】	〈局長〉飯田 保 (高20)	秦野
	〈次長〉山口 章治 (高19)	秦野
	〈書記〉瀬戸 紀彰 (高44)	伊勢原 木村 菜花 (高57) 秦野



## 平成29年度決算報告書

◎収入の部 自平成29年4月1日 至平成30年3月31日  
△印は減額 単位：円

項目	29年度予算額	29年度決算額	増減	摘要
前期繰越金	3,910,756	3,910,756	0	
終身会費	3,700,000	4,370,660	670,660	新会員356名、既卒会員82名(手数料等除く)
預金利息	3,000	1,840	△1,160	預金利息
雑収入	80,000	80,000	0	広陵広告協力金
合計	7,693,756	8,363,256	669,500	

## ◎支出の部

項目	29年度予算額	29年度決算額	増減	摘要
会議費	295,000	298,135	3,135	
総会費	225,000	225,000	0	総会開催諸経費(伊勢原支部)
役員会議費	70,000	73,135	3,135	飲物代(役員会、常任幹事会)等
事業費	3,435,000	3,445,099	10,099	
支部育成費	240,000	240,000	0	6支部
同期会育成費	50,000	50,000	0	1同期会に10,000円助成
在校生活動振興費	700,000	700,216	216	部活動・教育活動支援
会報発行費	2,120,000	2,135,464	15,464	広陵発行(編集費、印刷、送料)
校歌祭参加費	250,000	246,199	△3,801	参加代、バス代、飲物代、会議交通費
ホームページ運営費	75,000	73,220	△1,780	ホームページ運営費
慶弔費	40,000	25,000	△15,000	
事務費	115,000	110,177	△4,823	
事務局費	85,000	81,829	△3,171	事務消耗品代等
通信費	18,000	18,846	846	郵送代(切手・葉書)
印刷費	12,000	9,502	△2,498	会議資料代、コピー代 終身会費振込用紙印字
予備費	3,808,756	4,484,845	676,089	
合計	7,693,756	8,363,256	669,500	

同窓会積立金残高 31,500,000円

## 平成29年度事業報告

- 1 総会
  - 6月24日(日) 伊勢原市民文化会展示室
- 2 役員会
  - 4月5日 会計監査
  - 4月15日 本部役員会
  - 8月11日 本部役員会
- 3 常任幹事会
  - 4月15日 常任幹事会
- 4 会報「広陵」46号発行・配布
- 5 支部育成 6支部に育成助成
- 6 同期会支援 5同期会に祝金贈呈
- 7 第12回青春かながわ校歌祭に参加  
期日 9月30日  
会場 厚木市文化会館  
参加者 同窓会員・生徒・先生  
合唱曲目 校歌・第一応援歌：  
第二応援歌
- 8 第32回秦野伊勢原地区同窓会連絡協議会に参加 期日7月23日  
会場 一の屋  
参加校 伊志田・秦野曾屋・秦野総合・秦野・伊勢原  
同窓会役員・校長 37名参加  
各校同窓会の現状報告及び情報交換
- 9 学校創立100周年記念事業
- 10 在校生活動支援
- 11 学校行事



平成29年度秦野高等学校同窓会の会計収支決算について、関係帳簿及び書類等を審査した結果、正確・公正に処理されていることを認めます。

平成30年4月5日  
会計監査 飯田 重明  
会計監査 今井 勝重

左記のとおり報告します。

平成30年4月5日

会長 畑野 公保  
会計 能條 剛  
会計 谷 富雄



## 平成30年度予算 (案)

### ◎収入の部

自平成30年4月1日 至平成31年3月31日  
△印は減額 単位：円

項目	29年度決算額	30年度予算額	増減	摘要
前期繰越金	3,910,756	4,484,845	574,089	
終身会費	4,370,660	3,700,000	△670,660	新会員350名、既存会員20名(手数料除く)
預金利息	1,840	1,750	△90	預金利息
雑収入	80,000	80,000	0	広陵広告協力金
合計	8,363,256	8,266,595	△96,661	

### ◎支出の部

項目	29年度決算額	30年度予算額	増減	摘要
会議費	298,135	300,000	1,865	
総会費	225,000	225,000	0	総会開催諸経費(平塚支部担当)
役員会議費	73,135	75,000	1,865	飲物代(役員会、常任幹事会)等
事業費	3,445,099	3,420,000	△25,099	
支部育成費	240,000	240,000	0	6支部
同期会育成費	50,000	60,000	10,000	1同期会に10,000円助成(6同期会)
在校生活動振興費	700,216	700,000	△216	部活動・教育活動支援
会報発行費	2,135,464	2,130,000	△5,464	広陵発行(編集費、印刷、送料)
校歌祭参加費	246,199	210,000	△36,199	参加費、バス代、飲物代、会議交通費
ホームページ運営費	73,220	80,000	6,780	ホームページ運営費等
慶弔費	25,000	40,000	15,000	
事務費	110,177	115,000	4,823	
事務局費	81,829	85,000	3,171	事務消耗品代等
通信費	18,846	20,000	1,154	郵送代(切手・葉書)
印刷費	9,502	10,000	498	会議資料代、コピー代
予備費	4,484,845	4,391,595	△93,250	
合計	8,363,256	8,266,595	△96,661	

## 平成30年度事業計画(案)

- 1 総会・幹事会・役員会・各委員会の開催
- 2 会報「広陵」第47号の発行・配布、ホームページ管理・運営
- 3 第13回「青春かながわ校歌祭」に参加  
平成30年10月21日(日)  
県立青少年センター  
練習日 9月8日(土)  
9月29日(土)  
10月13日(土)  
いずれもAM10～正午  
場所 秦野高校視聴覚室(予定)
- 4 支部育成と同期会支援
- 5 在校生への活動支援  
部活動助成・全国大会等への出場支援
- 6 秦野・伊勢原地区同窓会  
連絡協議会への参加

同窓会積立金残高 31,500,000円

表紙スケッチ

中庭コートで  
スマッシュ

岡村泰成(高6回)

私たちの在学当時は軟式で、つまりソフトテニス。ラケットも昨今では面がぶれない2本シャフトが定番となっていますが、当時は振り抜きの良い1本シャフトで、昼休みに中庭にあるコートにネットを張り練習をしていました。県大会では小田高が強く、年代的には天皇陛下、美智子妃の軽井沢コートでの「運命の出会い」があり、その後ご結婚をなされ、テニスブームが生まれた頃でした。男子校でしたからホットな出会いもありませんでしたが。

\*

昭和29年卒業、東京藝術大学工芸科卒、日本美術家連盟会員、Moss Spirits 代表。



# 平成29年度総会報告

伊勢原支部 平田真一 (高28回)

平成29年度同窓会総会は、

6月24日(土)午前10時30分から

伊勢原市民文化会館展示室を  
会場とし、来賓も含め74人の  
参加を得て開催された。

総会は苅籠副会長の開会で  
始まり、畑野会長の挨拶、来賓  
の久保寺副校長の挨拶の後、  
相原支部長を議長として議事  
に入った。

初めに平成28年度の事業・  
決算報告が行われ承認された。  
次に平成29年度事業計画・予  
算の提案説明が行われ、いず  
れも可決された。続いて古木  
副会長から「同窓会事務所開  
設準備について」の経過説明  
があった。最後にその他の議  
案として、平成29年度全国大  
会支援金収支報告等があり、  
平塚支部(次回開催幹事支部)  
の杉山鎮夫氏の閉会の言葉で

締めくくられた。  
総会終了後、同会場で「伊

勢原市における  
日本遺産の認定  
について」と題  
して、伊勢原市

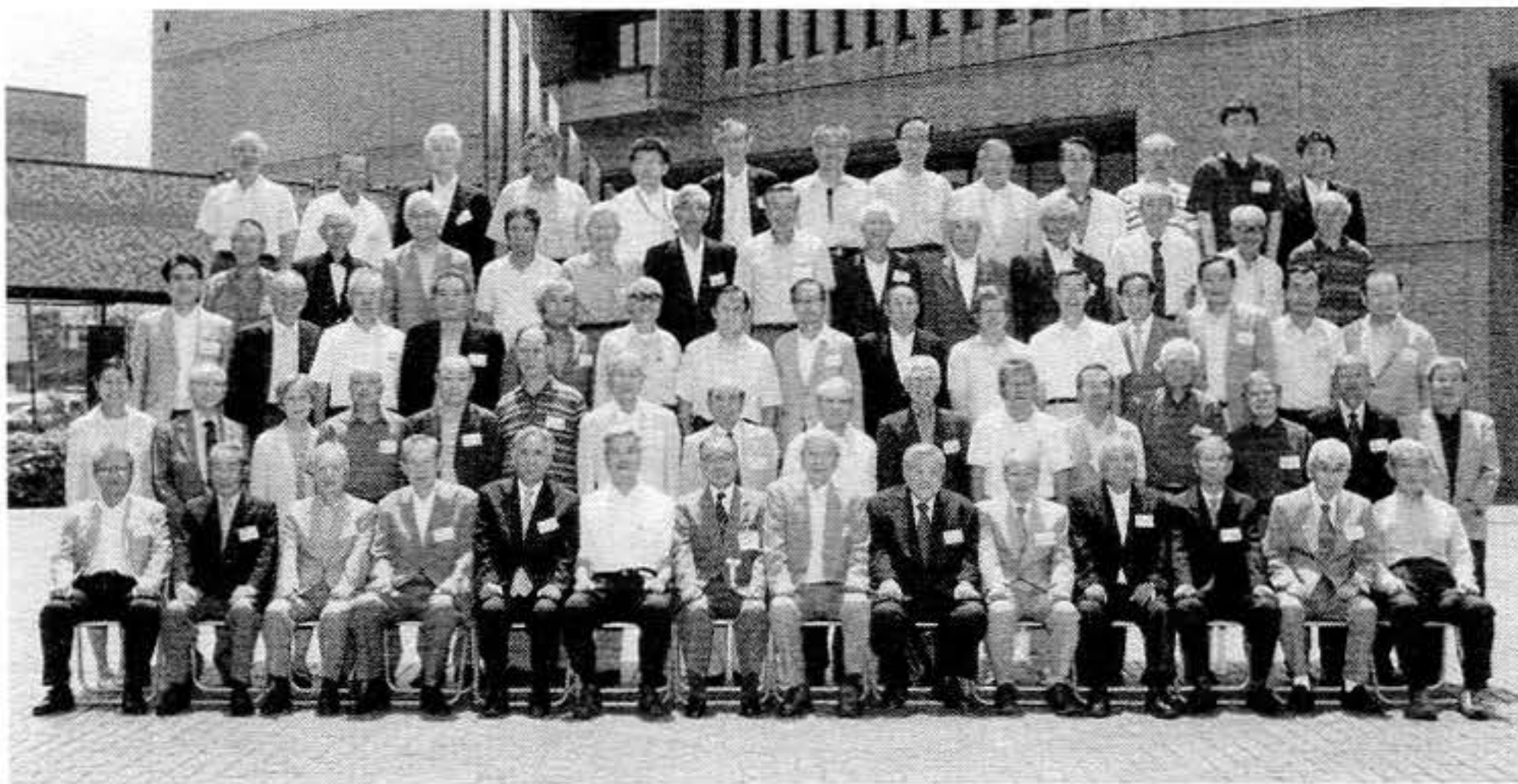
文化財課の職員  
を講師として講  
演会を開催した。

その後、会場を  
隣のレストラン  
「しいの木」に  
移し、越水清氏

(高14回)の開会  
の言葉、宍戸伊  
勢原市副市長の  
乾杯の発声で懇

親会が開宴され  
た。終始和やか  
な雰囲気の中、  
先輩・後輩の垣

根を超え、親睦



を深めることができました。  
懇親会は最後に校歌を斉唱  
し、長谷川美夫氏(高9回)  
の閉会のことばで幕を閉じ  
た。

## 跳ね上がれ、

### 秦高チア

顧問 森 有里恵

平成29年3月27日に幕張

メッセで開催されたUSA  
Nationals 2017(全国選手  
権大会)に70期10名、71期11  
名計21名が出場し、Show  
Cheer-Novice部門1位、

合わせて高校編成Cheerグラ  
ンプリを獲得しました。2分半  
という短い演技時間ではあり  
ますが、その中には21名が共  
に歩んできた尊い日々が凝縮  
されています。部員たち自ら

演技構成を考え、気持ちを一  
つにして練習を重ねてきまし  
た。技が決まらず苦しい時期  
もありましたが、笑顔絶や  
さず部員同士で励まし合い、

時には厳しく指導し合いなが  
ら演技の完成度を高めていき  
ました。「自分たちはこの演  
技で何を伝えたいのか」と自問

自答を繰り返し、試行錯誤の末  
にたどり着いた全国大会当日  
は、いつも応援して下さるご家  
族や友人・先生たちへの感謝の  
思いを込めて、最高の演技を  
披露することができました。

「伝説」をつくった70期の後  
を引き継いだ71期は、全国一  
位という大きなプレッシャー  
を背負い、「伝説を伝統に」す  
ることを目標に72期と共に大  
会に挑みました。周りの期待  
に押しつぶされそうになるこ  
ともありましたが、30名で支

え合い演技を一から作り上げ  
ました。平成30年3月26日に  
開催されたUSA Nationals  
2018(全国選手権大会)でも71  
期11名、72期19名計30名が  
出場し、Show Cheerleading-  
Novice部門2位を獲得しま

した。当日は大切な人たちへ  
の感謝を胸に、伝統となる最  
高の演技を披露することがで  
きました。



# 退任いたします

同窓会会長 畑野公保



本年度末日をもって、同窓会長を退任いたします。平成24年4月に就任して以来、2期6年にわたり、一生懸命努めて参りました。新しい会則のもと、大幅な機構改革を実現し、一層の活性化と充実を図り、一歩前進できたのかなと感じています。これも偏に役員各位と同窓生皆様の力強いご指導・ご協力の賜物と深く感謝しています。

市文化会館で開催されました。本校が大会幹事校として指名され、同窓会が中心となり、その任にあたりました。同窓会と学校側（在校生・教職員・PTA）が一体となり参加し、来場者数も2千3百名余と盛大に開催され、内外からも高い評価をいただきました。また平成28年10月29日には本校創立90周年（草創130年）記念大会が秦野市文化会館で開催され、式典には県教育委員会をはじめ多数のご来賓の出席をいただき、在校生と共に集い、記念大会に相応しい雰囲気で行われました。誠に喜ばしい限りです。なお、本校100周年記念に向けての準備委員会も既に発足しました。同窓会の方々が在校生、

学校側に対して、常にエールを送ることがより一層望まれると実感しています。

本年度も卒業生357名中、356名の入会がありました。この新たな息吹が将来の秦高同

## 継承・発展・改善

校長 今田浩二



窓会を支えていくことでしよう。どうぞ今後とも同窓生諸氏のご指導・ご協力をお願い申しあげますと共に、ご発展を祈念し退任の挨拶とさせていただきます。感謝。

どうぞよろしくお願いいたします。私は本校で30代目の校長となり、その歴史と伝統の重みを感じているところで

さて、学校経営にあたっては、「生徒の安全・安心はすべての教育活動に優先する」ことを基本に置きながら、継承・発展・改善をキーワードに進めてまいります。

高校時代は子どもたちが将来自己実現を果たすための準備期間であり、また、人間形

成において重要な意味を持つ時期でもあります。充実した高校生活を通して人間的に大きく成長させ、将来を生き抜く力を育んで世に送り出すのが学校の責務であると考えます。そのためには秦野高校が今日まで92年の長きにわたって積み重ねてきた良き伝統を継承・発展させるとともに、時代の変化に対応すべくさまざまな場面で改善を図っていく所存です。

先輩方が築かれた「質実剛健」「文武両道」の校風はまだまだ健在です。生徒たちはこの広畑の丘で伸び伸びと勉強、部活動に打ち込み平和な学園生活を送っています。同窓会の皆さまにはぜひ学校へ足をお運びいただき、このような生徒たちの様子をご覧いただければと存じます。その際にはぜひ校長室へお立ち寄りください。お待ちしております。



# 全国から世界のステージへ大きく羽ばたく秦野高校

前校長 神戸秀巳

平成26年から4年にわたり、皆様の多大なご協力とご支援のおかげで、秦野高校は「できることは何でもやる」「調子に乗っている」「動きの見える」学校づくりを進め、様々な教育活動を前のめりで実践することができました。

学校活動の柱として、「文武両道」「凡事徹底」「地域貢献」を掲げ、ぶれないメッセージを頻繁に発信し続けました。明治19年に誕生した「三郡共立学校」をルーツに持つ秦野高校は、伝統を引き継ぐことに加え、「新たな伝統を創り出す」ことが大切だと、生徒たちに訴えてきました。

平成28年に創立90周年記念事業を盛大に実施し、創立100周年（草創140年）をめざした学校・同窓会・PTAの三者

# 更なる学校力の向上を期待して

副校長 久保寺忠夫

からなる委員会が既にスタートしています。『全国から世界のステージへ羽ばたく秦野高校』をキャッチフレーズに、「国際交流の推進と活性化」「全国の高校とのネットワークづくりの推進」「生徒の主体的活動に向けた学校・同窓会・PTA・地域との連携」「部活動の活性化と全国との活動交流の促進」の4本柱を主な取り組みとしていきます。三者が連携を

平成27年4月に16年振りに秦野高校に戻り、管理職として3年間、2万4千人を越える卒業生の汗が込みこんだ広畑が丘で、母校の前進の一端を担えたことに感謝しています。生徒として3年間、教員として9年間、そして管理職として3年間を母校で過ごすことができた私は、大変な幸せ者だと全てに感謝しています。久し振りに戻った母校の後輩たちは、変わることなく青春の輝く3年間を完全燃焼させるべく、文武両道の実現に向けて、しつかり輝く汗を流していました。時代や人は変わっても、県下最古の歴史を誇る秦野高校の伝統と理想は着実に引き継がれ、発展して

行役を担いましたが、学校職員・生徒・同窓会、PTAが正に一枚岩となった推進力こそ、秦野高校の力、学校力であると確信いたしました。現在、100周年準備委員会を立ち上げ、更なる学校力の向上に拍車がかかることを期待しています。平成28年度に私が作成しました「全国から世界のステージへ 大きくはばたく秦野高校」は、私の心からの秦野高校に対する思いです。

層強化し、地域の笑顔・満足期待を向上させて、皆様から「おらが学校」と誇りに思っていただけの学校づくりを進めていただくことを望んでいます。「全国の高校とのネットワークづくりの推進」で、今後も引き続き、お手伝いさせていただき

ます。よろしくお願いいたします。

迎えた90周年では、全体進

ます。

ました。

ました。

各種宴会・商談にご利用ください。



# 割烹 やなぎ家

秦野市寿町1-26

☎(0463) 81-2288

ホームページ <http://www.yanagiya-hadano.com>



# 「青春かながわ校歌祭」青春が甦る

校歌祭実行委員長 福田三郎 (高13回)

第12回校歌祭」は、厚木市文化会館に26校が集い、9月30日に開催されました。参加者全員が各校の校風や伝統が発揮される一大イベントの祭を楽しみました。特筆されるのは、福島県立富岡高校の同窓会の「母校で校歌を歌い隊」が特別参加したことです。東日本大震災の原発事故で被災した学校です。現在も休校中で、消滅しそうな母校の校歌を歌い継ごうとする行動は、「かながわ校歌振興会」の心をとらえました。振興会の声掛けから、校歌祭参加の話がまとまりました。被災された方々が厚木市までバスを貸し切り参集されるに当たり、実現に向けた支援活動が提唱されました。我が広陵会もエール

を送るべく募金を呼びかけたところ、2万円を超す募金が寄せられ、それを振興会を通して贈り、参加費用に役立ててもらいました。感謝です。さて秦高は1回からの連続出場校で、校歌と応援歌等、3曲を歌い続けています。学校側のご協力で吹奏楽部が参加してくれています。力強い演奏にのせて、大声で歌うので気分は青春です。毎年貸し切りバス1台で生徒と楽器類や応援用具類を会場まで輸送しています。今回は全国大会で優勝したチアリーダーング部の生徒も歌で参加してくれました。13回目にはステージでダンスのパフォーマンスも披露してもらえようお願いしますつもりです。

参考までに秦校の総参加者は99名(同窓会員62名、生徒24名、学校関係者13名)でした。音楽会ではなく校歌祭という祭で、校歌や応援歌を若男女が一緒に歌うと、まさに青春が甦ります。カラオケとは違う楽しさがあります。

- 開催日・会場  
平成30年10月21日(日)  
県立青少年センター
- 練習日(土曜日)  
9月8日、29日、10月13日  
いずれも時間は午前10時～正午
- 場所 秦野高校視聴覚室  
(予定)

出演者用のオリジナルTシャツの用意あり。初めての方もぜひ足をお運びください。お待ちしております。



地域の健康を願って SINCE1905

## 佐野十全堂薬局

〒257-0035 神奈川県秦野市本町2-5-6

代表電話 (0463)81-0031



# 支部だより

## 秦野支部

山口雅弘 (高14回)

秦野支部は平成29年4月に支部総会を約40名の会員が参加し開催した。今年度の事業のなかでは、特に「終身会費未納者への会費納入の呼び掛け」の協力依頼があった。

このため5月～12月の間、多くの地区委員が未納者宅を戸別訪問し、納入のお願いをした。実際に訪問してみると、多くの方が転居や結婚等で、秦野市以外に居住していることが確認できた。住所変更の申請手続きをされるようお願いしました。年末には60名を超える納入がありました。恒例の視察研修は茨城県の那珂湊と筑波宇宙センターを

訪れた。那珂湊漁港では威勢のいい呼び声が聞こえ、津波の被害から着実に復興している姿を、宇宙開発最前線の筑波宇宙センターではHIIロケットや人工衛星などの宇宙開発技術を見学できた。

9月に厚木市文化会館で開催された校歌祭には約50名が参加した。スポーツ大会の応援では、夏の高校野球、秋の駅伝大会の応援に参加した。今後は同窓会活動の「見える化」を図り、若い世代や女性会員に参加してもらえよう努力したい。

## 伊勢原支部

今井勝重 (高29回)

伊勢原支部は平成29年4月29日、年度総会を開催しました。当日は支部役員を中心に参加者15名で、前年度活動報告、当該年度計画と、共に決算・予算を審議し、全員の賛

成をもって了承されました。29年度事業では会場支部として、本部総会が開催され、参加者皆様のご協力により、盛会に開催できました。

前年度開催が見送りとなつてしまった研修会は11月26日、世界遺産の富岡製糸場見学を行いました。例年の「青春かながわ校歌祭」へも参加し、威風堂々と校歌・応援歌を披露しました。

伊勢原支部も本部・他支部と同様に、組織運営に関して様々な課題を抱えています。今年度の活動も例年どおりの内容を予定していますので、継続的な活動ができるよう工夫をしていきたいと考えています。当支部に所属する卒業生の皆様が、同窓会活動へ積極的に参加いただけることを期待しています。

支部会員の皆様のご協力をお願いします。

## 平塚支部

出縄高昭 (高19回)

平成29年5月27日に平塚支部総会を開催した。平成28年度活動報告と決算が承認され、平成29年度の活動方針、予算、同窓会事業への積極的参加、組織再編、拡大、充実に図っていくことを確認した。

懇親会は大先輩の身振り、手振りを交えた思い出話や、旧大根駅と鶴巻駅間の距離が短いにもかかわらず、2駅ができた経緯等に耳を傾けながら懇親を深め、再会を約してお開きとなった。

伊勢原市内で開催の同窓会総会の出席手続きしている最中に、副会長の関恒久氏の計報を奥様から頂いた。私は関氏と同級生で、部活動は社会部に属し、郷土史を学んだ間柄であった。53年の長い交際に幕が下りた瞬間であった。

土地活用のご相談は

# 株式会社 島 半



本社：神奈川県秦野市鈴張町5-30 ☎(0463)82-2211  
東京支店：東京都港区南青山2-2-15-540 ☎(03)6447-1925

ホームページ <http://shimahan.co.jp/>



関恒久副会長の死去に伴い急遽、後任の役員人事を幹部と話し合った結果、副会長に

第10回青春かながわ校歌祭で、総合司会を務めた杉山鎮夫氏(高12)、支部長に小川喜久雄氏(高28)を推薦することになった。杉山氏、小川氏の両名とも企画力、行動力に溢れ、優れた素晴らしい同窓生であり、今後の活躍が大いに期待できるものと確信している。

### 小田原支部

柏木 勝 (高9回)

当支部存続の危機は昨年と変わらない。本年は支部が組織化されて10回目の支部総会を4月に開催しました。

本年も60歳になられた方に総会出席を呼び掛けましたが、出席者はいませんでした。しかし、新たに2名の出席者が来られたが、それは焼け石に水で、本年も当支部長の同級

生の他支部会員に応援をお願いし、辛うじて総会が開催できました。

秦野・伊勢原・平塚支部(以下3支部)のように、長く学区が続いた地区は、親子三代、ご近所、兄弟姉妹、部活の先輩等の繋がりがあり、会員が集まり易いと思われる。会員数でも3支部最小の平塚支部でも2,500名以上いるわけで、当支部とは比較になりません。因みに当支部は3支部出身者が大部分を占めています。

それでも5月の総会反省会、12月の忘年会は例年どおりいつものメンバーで行いました。本年度最終行事の2月の新年会には、新人3名が加わり、ようやく役員交代の人数が揃いました。11回目になる来年度の総会は、新役員と同級生に強く参加を呼び掛けるつもりです。

### 南足柄支部

川口英夫 (高6回)

支部総会で毎年行っている講演会の昨年の題目は南足柄市と小田原市との合併についてであった。いろいろな資料に基づいた解説があり、合併によるメリット、デメリットについて様々な意見が出された。講演内容を参考にして同窓会の支部として、合併をどう考えるべきか、どう進めるべきかなどの話し合いをした。

具体的には支部が複数あればそれぞれの支部ごとに異なる運営方法、活動、支部育成の考え方がある。支部合併の場合はそれをどのように調整していくかなどであった。しかし両市の合併は南足柄市長の意向でペンディングになった。

南足柄支部は昔の学区制の影響で、60歳以上の会員は非

常に少ないが、若手(30歳以下)の会員は多くなっている。この様な特殊な年齢構成の南足柄支部の大きな課題は、支部をどのように活性化し、維持していくかである。

活動できる会員数が少ない支部ゆえ、他支部と同じ様な活動ができないが、支部内部の同窓生の繋がりをより深めていくために、幹事一同頑張っている。

### 東京支部

長沢孝治 (高13回)

東京近郊にお住いのOBの皆様へ。

東京支部会員は高齢化に伴い、活動が思うようにできていません。我と思う方は、長沢までご連絡ください。電話・FAX 03-3952-17784

## 湘南減災科学研究所

危機管理アドバイザー 出縄高昭 (高19回)

(防災・防犯・危機管理対策を官公庁、会社、病院、学校、自治会等で講話)

事務所 〒254-0901 平塚市纏 340-3

電話 080-5175-4146



# 在職中の思い出

## 五つの思い出

猪俣照美 (数学)

(平成22年4月～平成30年3月)

### ●思い出①「声」

「おはようございます」「こんにちは」「元気な声が校舎内外に響く。非常に清々しい。四時この流れを繋いで欲しい。」

### ●思い出②「もの」

伝統ある学舎は草木豊かで、桜や銀杏、プラタナスなどで、四季を彩る。街路樹の桂も然り、90周年記念植樹のユズリハはその名の通り、新葉がでると古い葉を落とし「譲る葉」として中庭に根付いている。

### ●思い出③「時」

忘れられない一日がある。

平成23年の東日本大震災が起きた3月11日である。当時は何処も大変だったが、本校も一丸となり難局を乗り越える事ができた。その年の職業人

講話の分科会で、本校のOBによる東日本大震災の講義を戴いた。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

### ●思い出④「歌」

校歌の一節に「芙蓉峰」がある。美術選択の我が級で校歌を紹介し、歌詞の意味を尋ねたところ、富士山との正答に、大変頼もしさを覚えた。

### ●思い出⑤「人」

貴重な意見をくださる学校評議員の皆様、諸先輩であられる同窓会の皆様、日頃よりご尽力くださるPTAの皆様、温かく見守ってくださいる地域の皆様、そして日々弛まぬ指導にあたっていらっしゃる本校職員、支えてくださっている皆様々に、「ありがとうございます」

と一言感謝申し上げます。末筆ですが、創立百周年に向かっていますのご発展と、皆様のご健勝とご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

# 校歌祭と秦高

美馬亮太郎 (社会)

(平成25年4月～平成30年3月)

秦野高校では吹奏楽部の顧問として校歌祭や90周年記念行事に関われたことが思い出に残っております。

そのなかで校歌祭では同窓会の皆様と一緒に5年間参加をさせていただき、練習から熱く校歌を歌われ、また秦高の歴史や思いを聞くなかで私も秦高の卒業生になったように感じておりました。

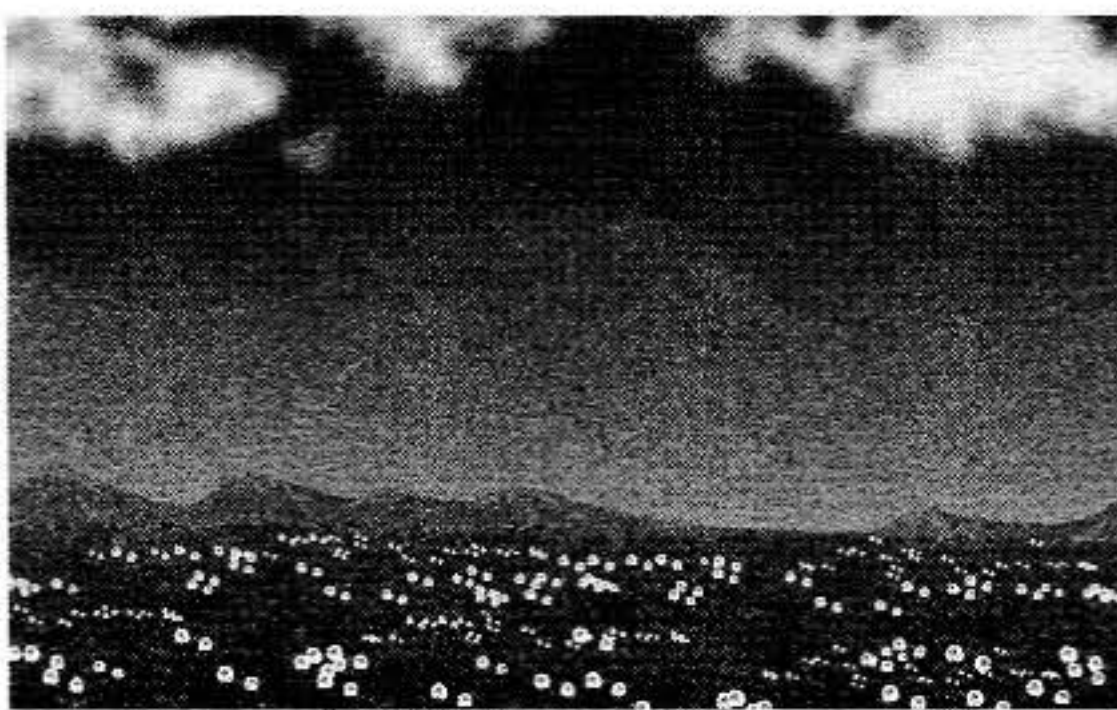
90周年の前年秦高が幹事校として校歌祭を行う運びになり、吹奏楽部も関わらせていただきました。

吹奏楽部はアトラクションを行うにあたり現役の部員と秦高吹奏楽部OBとの合同バンドを作り参加させて頂いたことは吹奏楽部として大きな経験をさせていただいたと思います。

大人数での演奏を経験していない現役の部員は音の圧力や大人数で吹くことの楽しさを感じていたはずですが、

秦高を離任することは寂しいですが秦高吹奏楽部の同窓会との繋がりは続いて行くはず。私も同窓会のパワーに負けずこれからも頑張ります。

最後に秦野高校のさらなる発展を願いましてこの文章を終わりとさせていただきます。



社会福祉法人 賜財 濟生会 湘南平塚病院

事務部長 土屋 克巳 (高28回)

〒254-0036 神奈川県平塚市宮松町18番1号

社会福祉法人 賜財 濟生会 湘南苑

事務長 土屋 克巳 (高28回)

〒254-0046 神奈川県平塚市立野町37-1  
電話(0463)31-0520(代) FAX(0463)31-3177



# 同期会だより

## 16期同期会

### 開催

大木伸男 (高16回)

平成29年11月11日秦野神奈中グランドホテルにて5回目の同期会を開催し、参加者は32名でした。例年は40名前後ですが今回は少ない気がしました。

同期会の最大の良い所は名前を確認できた時点である頃の青春時代にタイムスリップ出来ることです。面白いもので、思い出すのに数分の人もいれば、数時間かかる人もいます。話が弾み、飲み放題の2時間はあっと云う間に過ぎた気がしました。  
高校3年の時流行った舟木一夫の高校3年生と秦野高校校歌を斉唱し、一次会を終了



しました。

場所を変え有志による二次会が開かれました。

過去4回は往復はがきにより連絡していましたが、今回は片道はがきで、出欠連絡はメールか携帯電話でお願いし、支障なく確認できました。

今回も出席するとの連絡を頂きながら、数日前に鬼籍に入られた方がおられました。残念なことですが、そのような年齢になったことを痛感し

た同期会でした。

## 古稀祝いの

### 「いちちなな会」

小泉一二三(高17回)

秦野高校第17期(高17回)の卒業生で、平成5年に「いちちなな会」と名付けました。

平成29年6月3日「古稀」を記念して、秦野の魚作で第7回「いちちなな会」を62名の参加で開催いたしました。

恩師の中山鋭三、込山英雄

両先生を囲んで高校時代の思い出話に花が咲き、クラス入り混ざって盃を交わし歓談が止むことはありませんでした。

宴もたけなわになった頃、能條剛君に秦野高校及び同窓会の近況報告をしていただき、その後各クラスごと近況報告をしました。地域役員をして忙しく過ごしている人、畑仕事をして楽しんでいる人、ボランティア活動をして地域貢

献している人等様々でした。

古稀を迎え、これからは2年毎に会を開催することを約束し閉会しました。

## 青春時代へ

### タイムスリップ

大野祐司 (高31回)

平成29年10月14日夕刻のレゾナントホテル厚木には、昭和53年度卒業生(高31回)の懐かしい仲間たち120人が集まり同期会が盛大に開催されました。あの頃と全く変わらぬ者

が、顔を合わせ話をすれば、変貌を遂げた者と様々でしたが、顔を合わせ話をすれば、歳月の流れを感じさせる姿に、変貌を遂げた者と様々でしたが、顔を合わせ話をすれば、

切な時間となりました。

ご出席がかなわなかった小島一雄先生からは、ビデオメッセージをお寄せ下さったり、また懐かしい日々の写真のスライドや映画の上映がなされるなど、趣向を凝らした内容もあり、大いに盛り上がるこ





## 広畑が丘 空晴れて 秦中・秦高に想う

### 最も困難な

### 時代の学生生活

清水(山脇)望弘(中20高1回)

私の過ごした学生時代は複雑な学制改革の時代でした。

それと言うのも入学時点は旧制の中学、卒業時点は新制の高等学校とGHQの指導により6・5・4制度から6・3・3・4制度に変わった時期でした。

当時は終戦間もない極端な物資不足の時代で、日々の生

活を過ごす為の食料の確保が第一の時代でした。休日は勿論、平日も下校後すぐに田畑で食料の自給を図るべく米、麦、芋の他、様々な野菜を作る農作業にあたり、夜になって節電による停電のため鯨油に紙縫りを芯にした僅かな灯の中で予習、復習を行なう日々でした。

このような中で一番の問題は学校の基本教材である教科書です。満足になく、数冊の借りた教科書を「書写」する事から勉強が始まりました。

特に、英語は原本が活字体、書き写しは筆記体でと、大変苦勞したことを覚えています。しかし、その苦勞も考えようによれば「読み、書き」が自然に身につく、勉強の一助になったと考えています。

また、通学方法はバス、自転車は勿論なく、下駄を履いて徒歩で片道40〜50分の未舗

装の道程を行かねばなりません。この時間は学校の予習、復習にとつては大変有効に利用できたものです。それと言うのも今と違い、車がほとんど走っていない訳ではないので二宮金次郎張りの本を読みながらの「ながら族」が可能でした。

また、ある時は、友達と学校への行き帰りに自分が疑問に思った事柄や授業内容をお互いに切磋琢磨しながら通学したものです。疑問点や分からない事柄を先生に質問する材料を見つけ出すチャンスにもなりました。今の時代と違い、

パソコン、スマホ、電子辞書などはもとより辞書として落丁等もあり満足なものはありませんでした。しかし辞書は調べるうちに同じページにある用語や関連事項が自然と目に飛び込んで来て、楽しく吸収し身に着けることができた

最高の道具でした。戦時中はやりたくても出来なかった勉強を戦後は自分の意志で選択できる時代になった幸せを感じつつ、一層向学心に燃えた学生時代は今では決して味わうことができない大変懐かしい思い出となっています。

### わが師の恩

山口隅造(高9回)

「蛍雪の功成りて今や人生の旅路にいでんとす。世は苦楽の娑婆なり。突き当たる壁の厚くして多きことよ。

蹉跎する事なく進み給え」これは、当時担任の桐生先生(故人)から我々卒業生に贈られたお言葉です。卒業生を思う気持が切々と伝わってきます。

当時生徒会が発行した「こもりよう」の卒業記念号に収められた先生方の寸言集から

## (医) 柏木 齒科 医院

理事長 博士(歯学) 柏木 勝

診療所 小田原市本町 1-1-12

☎ 0120-24-2352



引用させて戴きましたが、この冊子には先生方の顔写真入りで卒業生へ贈るお言葉が掲載されています。

読んでみると当時の先生方の姿が、彷彿として甦り巣立って行く我々への貴重な箴言として心の支えになって来たものと思います。お陰さまで今迄で大きな蹉跌なく心豊かに人生を送って来る事が出来たものと感謝の気持ちで一杯です。

渋谷先生（故人）の「何処たりとも後輩と母校を忘るるな」と言うお言葉は、特に肝に銘じつつ現在、地区やホームページ・名簿管理の委員として微力ながらお手伝いさせて頂き、僅かな御恩返しに心算で励んでいる今日この頃であります。

### 悠久なる

### 我が母校

河野治行（高29回）

秦野高校に私が入学したのは昭和49年、本格的な男女共学が始まった年でした。

男女共学と言っても90名弱の女子。中庭を女子生徒が通ると、先輩たちの歓声が上がると言うような光景があちこちで見られました。

高3の時には創立50周年記念式典が行なわれました。高校時代の思い出と言え、何と言っても卓球部の活動と激しい雨の中をびしょ濡れで完走した高3の校内マラソン大会（1万メートル）。思い返してみると、この当時、体を鍛えた事が現在の健康を支えてくれているのだと分かります。

また、部活帰りに必ず立ち寄った「ふれんど」（相原商店）。様々な部のメンバーが集

い、語らった日々は掛け替えない一時だったと思います。

母校に赴任して4年余り、同期の今井公彦さん達と共に第10回青春かながわ校歌祭や創立90周年記念式典に携わる事ができました。現在の生徒たちも素直で前向き、質実剛健の伝統を継承してくれています。

創立100周年（草創140年）を8年後に控え、今後も母校が細胞を革新し続けながら時代に左右されない強靱な精神を継承して行って貰いたいと切に願っています。

### 偶然からの贈りもの

### 包頭→孔子→秦高

匿名（高5回）

無試験で秦高へ入学した私

達は3人の優秀な女性と共に1組で担任（数学の山岸信雄、国語の池田正一郎）の恩恵に浴した。数学の複素数の実数

と虚数を身体と心の関係に類推し、直後に早朝のラジオに心の時代が登場し、相関を考え始めた。国語では、誰か山師になる者は居らぬのかと叱咤されました。この2点が後に古代の占いの源へ私を誘いました。太陽と地球、月の関係を君、私、彼の三者の在り方を考えさせ、温故知新と詩人の谷川俊太郎の藪葉から文字の源へと、包義や文王等が「森羅万象を仰観俯察して宇宙の真理は写像である。」と孔子が後世に遺しています。

中20回の原様の御尊父から天地の法則を人に示すのが宗教であると学び、易と気学の関係を韓国旗から学ぶ事が出来ました。偶然は巡り合わせで因果応報を実感しています。



## 法政大学 湘南法友会

入会者募集中

前会長 梶山春雄（高7回）

税理士 社会保険労務士

〒259-1132伊勢原市桜台1-28-7

TEL.0463-95-2849 FAX.0463-96-1233



# シリーズ 杉山長風(茂夫)先生の記念講演④

同窓会資料室から

いよいよ弘法山上の前田夕暮の歌碑建立の作業が始まりました。

生徒達の分担です。消防の

車で、リヤカーで石を弘法山に運ぶ作業です。当時はまだまだものない戦後です。弘法山は人が歩くだけの道です。今では想像もつかない、隔世の感じがいたします。荷車などは通りません。まずは石運びの道作りです。作業の分担としても、鍬を持って行く者、シャベルを持って行く者、鎌、鉋、鉋などです。道なき道を作り、木の枝を払い払い、車の通るのに都合がよいように道を切り拓いていったのです。今から考えると夢のようです。まるで神話か、伝説に、昔の物語ともなるでしょう。生徒達は、制服制帽、上着は木

の枝にかけ、車に載せたり、記念事業と互いに励みあいました。

土台の石運びには、リヤ

カーに石を三つか四つ載せて行くのだが、山にかかれば、石を減らして行く。おろした石は交替しながら転がして行くのでした。戦後今なお浅い日本の時勢なのに、勤労奉仕作業に一生懸命になってやっているのを見たり聞いたりしているからと、町の農家の方

が、たいへん感動して、自分から牛車を曳いて生徒と一緒に石を山上に運んでくださった。この方は、現在、秦野の入船町で健やかに過ごしているらしいです。私もは、

労力奉仕に協力してくださることに感謝・感激をしたのでした。生徒も大いに元気づけ

られ、労力百倍です。頂上近い坂道になれば、十人ひと組の仲間交替で、この牛車の両

輪に取り付き、押しあげて登ったことが、今でも目に見えてきます。リヤカーなども提供してくださる父兄により、

運ぶ石の数も多くなったりしました。5月・6月と続きました。雨の日や、天気の良い日、

雨後の日は作業は止めです。滑る事、石で手を痛めたり、指を潰したりするような心配があるからです。

戦後の今時、よその高等学校ではこのような労力奉仕など快くできなかっただろう。それを本当によくやってくれた。今でも私自身ただただ感謝、頭が下がります。文句ひとつも言わなかった。愚痴も不平もひとつもなかった。

7月に入ってようやく歌碑が出来ました。そして歌碑の除幕式は、7月27日になった

のでした。なぜならこの27日夕暮の誕生日であったからでした。だが私は観光課にお願いをして2日延ばして29日の日曜に変更していただきました。理由は、この年3月に卒業した者達の式参加の都合を思ったからでした。翌28日は朝から激しい風雨の大嵐でした。そして明日の除幕式はやるのか、やらないのか心配したものでしたが小雨決行となつたのです。幸せにも夜明けと共に嵐は去り、清々しい晴天でした。式当日の弘法山上はからりと晴れた。雲ひとつない、正に青天白日でありました。何だか、どこかの国旗

みたいだ。しかも山上は真夏日の物凄い暑さでした。午前11時、金持校長をはじめ教職員、生徒代表、卒業生代表等、市からは中村秦野市長、観光課長、観光課の方々、その他大勢出席して立派な除幕式が行われました。

前田夕暮の略年譜

明治16年 大住郡大根村(現秦野市)に生まれる。本名前田洋造

明治32年 中郡立共立中学校(現秦野高校)病氣により中退。

明治37年 上京し、若山牧水と相前後して尾上紫舟の門に入る。

明治43年 処女歌集「収穫」を刊行。牧水の「別離」とならび称され、ともに自然主義歌人として脚光を浴びる。

大正13年 写生派の「アララギ」に対抗し、白秋らと雑誌「日光」を創刊。

昭和3年 「詩歌」復刊、伝統短歌に対し、新感覚派風な自由律短歌の樹立に挺身。

昭和26年 東京荻窪の自宅で逝去。享年67歳。



## 平成29年度 部活動の記録 (県大会以上)

部活動名	大会名	結果	部活動名	大会名	結果		
陸上競技部	県高校総体	男子 1500m 2位 男子 5000m 3位	バスケットボール部	関東大会県予選	男子、女子 ベスト32		
	関東高校総体	男子 1500m 7位		高校総体県予選	男子、女子 ベスト24		
	北相地区高校陸上競技大会	男子 100m 3位 男子 200m 4位 女子 1500m 1,5位 女子 3000m 1,2位		県新人戦 西支部予選	男子 準優勝、女子 ベスト16		
		男子 5000m 4,9位	県大会	女子 ベスト16			
		男子 4×400mR 2位	関東地区選手権大会	男子 3位 女子 1回戦			
		女子 1500m 9位 女子 3000m 7位	関東高等学校バレーボール大会	男子、女子 ベスト16			
		女子 6位 男子 16位	全国高校総体県予選	女子 1回戦			
	関東高校駅伝	女子 30位	バドミントン部	関東大会県大会	女子 出場		
	県高校新人陸上大会	女子 1500m 9位 女子 3000m 7位		高校総体県大会	女子 シングルス 出場		
		女子 6位 男子 16位		新人大会女子学校対抗戦北相地区予選	女子 6位、県大会出場		
サッカー部	全国高校サッカー選手権大会二次予選	ベスト29	卓球部	神奈川県高校総体	男子シングルス 出場 男子ダブルス 出場		
	神奈川U-18リーグ2部	5位		関東大会神奈川県予選	男子シングルス 出場		
	新人大会(兼 関東一次予選)	シード決定2次トーナメント出場		県卓球新人大会	男女 シングルス 出場		
	第60回関東高校サッカー大会神奈川県二次予選	ブロック準決勝進出	弓道部	国体予選会	個人 3位 団体二次予選 出場		
	平成29年度第55回神奈川県高総体	ブロック準決勝進出		関東個人選抜大会県予選会	男子 4位		
	平成29年度新人大会兼平成30年度関東大会1次予選	グループリーグ1位		第36回関東個人選手権	選抜大会 出場		
	野球	平成30年度関東大会2次予選	シード決定トーナメント2位	剣道部	関東大会県予選	女子 個人戦 6位 男子、女子 団体戦 ベスト16	
		第99回全国高校野球選手権神奈川大会	2回戦進出		県新人戦	女子 個人戦 5位	
	ハンドボール部	平成29年度県高校野球秋季県大会	2回戦進出		山岳部	全国選抜大会県予選	男子、女子 団体戦 ベスト16
		関東大会予選	男子 3回戦進出	全国関東高校登山大会神奈川予選		優秀賞	
インターハイ予選		男子 出場	第61回関東高校登山大会	出場			
関東大会予選		女子 出場	チアリーディング部	USA Nationals 2017 (全国選手権大会)	Show Cheer-Novice部門 1位 高校編成Cheer グランプリ獲得		
インターハイ予選		女子 出場		Jリーグ横浜Fマリノスホームゲーム試合前パフォーマンス	チアアップ賞		
県新人戦大会		男子 3回戦進出 女子 2回戦進出		秦野たばこ祭り	参加		
県選手権大会	男子 出場 女子 出場	小田原マーチングフェスタ		参加			
男子ソフトテニス部	関東大会県予選会	個人 2位 個人 9位、ベスト16、ベスト32、団体2回戦		秦野市市民の日	参加		
	高校総体県予選会	個人 2位、3位、4位 個人 8位、ベスト16、ベスト32、団体2回戦		湘南ベルマーレフットサル ハーフタイムショー	参加		
	県選手権大会	男子 ベスト16、32位、64位	USA2018 Nationals(全国選手権大会)	準優勝			
	学年別新人大会	2年の部 3位	全国高校かるた選手権大会県予選	団体戦 出場			
	北相地区学校対抗大会	準優勝	県高校小倉百人一首かるた第4回ルーキー大会	1位			
	新人大会県大会	個人 ベスト16位、32位、団体8位 団体 ベスト8	県高校かるた大会	個人戦の部 2位 初級者の部 2位			
吹奏楽部	関東大会県予選	団体 ベスト8	かると部	西湘地区吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテスト	高校A部門 銀賞 木管金管五重奏 銀賞		
	全国大会県予選	個人 ベスト32		定期演奏会3月	主催		
	関東大会県予選	個人 ベスト64		広畑小学校クリスマスコンサート	参加		
	全国大会県予選	団体 ベスト8	合唱部	鶴巻公民館まつり	参加		
	国体予選	ベスト32、ベスト64		第13回定期演奏会	参加		
	県選手権大会	個人(S) 地区予選2位 個人(D) ベスト16、3回戦 団体 ベスト4		小田原市「ダイヤモンド湘南」	演奏訪問		
	男子硬式テニス部	北相地区学校対抗大会	団体 優勝(3年連続)	吹奏楽部	秦野市合唱祭	参加	
		県高校新人テニス大会	シングルス本戦出場		おおね公民館まつり	参加	
	女子硬式テニス部	県高校新人テニス大会	シングルス本戦出場		合 唱 部	定期演奏会	参加
		水 泳 部	県高校北相地区水泳競技大会	男子 自由形50m、100m3位 男子 平泳ぎ50m6位 男子 背泳ぎ50m、100m3位 男子 リレー200m4位 男子 ムドレーR200m6位		吹奏楽部	戸川上自治会主催「はたるのうたげ」
女子 自由形200m5位 女子 平泳ぎ50m、100m3位、6位 女子 総合 7位	合 唱 部			定期演奏会			参加
県高校北相地区水泳選手権大会(新人戦)				男子 平泳ぎ50m8位 男子 平泳ぎ100m8位 男子 背泳ぎ50m、100m2位 男子 バタフライ50m8位 男子 個人ムドレー200m6位	合 唱 部		定期演奏会
				男子 リレー200m4位 男子 ムドレーR200m4位		合 唱 部	定期演奏会
	女子 平泳ぎ50m、100m2位、7位			合 唱 部			定期演奏会
	第18回湘南マスタース大会		男子(高校の部) 自由形25m1位、3位 自由形 50m1位 背泳ぎ 50m、100m1位 バタフライ 25m3位 ムドレーR200m 1位、2位 リレー200m(フリー) 1位、2位		合 唱 部		第41回全国高校総合文化祭宮城大会
			美術部			たばこ祭り	参加
秦高ふれあいコンサート(広畑小)				参加			
北相地区高等学校演劇連盟第53回秋季演劇発表会				優秀賞			
演劇部			第39回春季演劇発表会	舞台監督賞	演劇部	秋季大会	参加
	春季大会	上演	春季大会	上演			
	美術部	平秦地区交通安全高校生PTA大会・交通安全ポスター	最優秀賞	サウンド研究部		神奈川県軽音楽コンテスト	参加
第47回秦野市展美術の部		出展	神奈川県軽音楽コンクール		参加		
第64回県高校美術展		出展	第2回校内ライブ		実施		
サウンド研究部	秦野市事業協力	東名秦野バスストップ内イベント実施	英語部	姉妹校交流会	主催		
	新人生歓迎ライブ	実施		柔道部	キャンプ座間クリスマスイベント	参加	
	新人生歓迎ライブ	実施			秋季柔道大会	個人2回戦敗退	
英語部	秋の発表会7月秦野市文化会館	主催	ストリートダンス部		ダンス発表会7月秦野市文化会館	主催	
	厚木あゆまつり	参加		茶道部	厚木あゆまつり	参加	
	下大槻団地納涼祭	参加			茶道部	ひろはたふれあいまつり	参加
茶道部	高文連高校生茶会	参加	写真部			勉強と親睦の茶会	参加
	写真部	勉強と親睦の茶会		参加		写真部	大根ふれあい祭り
		大根ふれあい祭り		作品展示			

※上記部活動以外にも、多くの部活がさまざまな活躍をしています。ホームページをご覧ください。



# 寸描 母校2017年度 —平成29年度の進路状況と 今後の取り組み—

キャリア教育支援グループ 柏木真人

今年度の全体的な入試環境の総括は、昨年度と変わらず「文高理低」の志願状況で、私立大一般入試は、文系学部が充実している総合大学を中心に志願者が増加した。さらに厳格化される定員超過抑制の影響がある中、後述しますが本校は健闘していると言えるでしょう。

次に、このような入試環境のもと平成29年度卒業生357名の進路状況を報告します。

卒業生357名中、4年制大学291名(内国公立13名)、短期大学6名、専門学校9名、就職0名、進学準備48名(昨年58名)となっています。特に、国公立合格者数は、昨年の22名から人数は15名と少々減少しましたがGMARCHの合格延べ人数は、入学定員の厳格化により多くの他校が苦戦している中、本校は121名から127名と微増ながら増加した。またトピックスとしては、横浜市立大学において新設学部で脚光を浴びている「データサイエンス学部」で一般合格者が出て、さらに獣医学部、薬学部において近年になく合格者が多数出たことです。

最後に、大学入試センター試験もいよいよ来年度の新生から新入試体制となり残すところ2回となりました。さらに、今までの伝統的な学力すなわち「知識」の量から課題解決能力、判断力等の育成が重要視される新入試(大学入学共通テスト)への対策としても本校は万全を期す覚悟で取り組み、また「ICT(注2)利活用」の指定校に成りつつはや3年目、完成年度となります。特に、環境問題の一環として、《ペーパーレスでスマホによる授業形態》が全国ネットでテレビ放映があり多くの反響がありました。

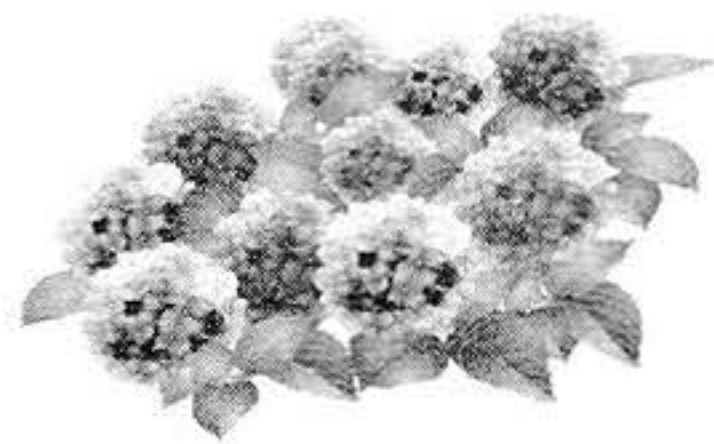
(注1) GMARCHとは、学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政の略

(注2) ICTとは、Information and Communication Technology (インフォメーション・アン

ド・コミュニケーション・テクノロジー)の略

2017年度(平成29年度)卒業生の進路状況

	合格者	入学者	入学者内訳			
			一般入試	指定校入試	公募制入試	AO自己推薦
国公立大学	15	13	11	0	2	0
私立大学	757	278	199	63	7	9
短期大学	7	6	1	3	2	0
専門学校	13	12	6	0	3	3
就職	0	0	—	—	—	—



喜び、満足、感動の花をお届けします

花生活応援はなさよ

## 花小代

http://hanasayo.com phone.0463-96-1187

神奈川県伊勢原市桜台 1-23-38



## 2017年度 主な大学・短大合格者延べ数

大学名	現	卒	大学名	現	卒	大学名	現	卒
<b>国公立大学</b>			関東学院大	23		京都市大	41	5
			北里大	7	1	東京農業大	9	1
北海道教育大札幌	1		杏林大	2		東京工科大	5	
埼玉大		1	工学院大	15	5	東京理科大	3	3
山梨大	1		國學院大	6	6	東洋大	12	2
電気通信大	1		国際医療福祉大	5		日本女子大	3	1
首都大東京	3		国士舘大	7		日本体育大		1
横浜国立大	1	1	駒澤大	27	2	日本大	34	6
横浜市立大	2		相模女子大	8		フェリス女学院大	4	
静岡大	1		国際基督教大	1		法政大	27	9
静岡県立大	1		芝浦工業大	1	4	明治学院大	19	2
都留文科大	1		上智大	5		明治大	24	7
広島市立広島大	1		昭和女子大	2	1	横浜薬科大	11	
富山大	1		昭和薬科大	2	1	立教大	10	6
琉球大	1		成蹊大	8	4	早稲田大	9	2
<b>私立大学</b>			成城大	11		<b>私立短大</b>		
青山学院大	27	3	専修大	30	5	川崎市立看護短大	1	0
麻布大	4	1	玉川大	14	1	共立女子短大	1	0
桜美林大	13	1	中央大	34	5	國學院大北海道短大部	1	0
学習院大	4	1	帝京大	15	4	戸板女子短大	1	0
神奈川工科大	21		帝京平成大	4		東海大医療技術短大	2	0
神奈川大	55	5	東海大	57	3	新渡戸文化短大	1	0
鎌倉女子大	8		東京電機大	12	3			
			東京薬科大	7	3			

### お知らせ

● 転勤・結婚など様々な理由により異動が生じた場合はご連絡下さい。

\* 連絡方法(1)または(2)などで

(1) 葉書・257-0004 秦野市下

大槻113 県立秦野高校内

秦高同窓会宛

(2) ホームページアドレス

<http://www.koryoukai.info/>

なお、旧職員・会員の方がお亡くなりになった場合も右の連絡方法でお願い致します。

● 今年度から再び全国大会派遣支援活動を始めます。会員・客員の御支援と御協力をお願い申し上げます。

● 青春かながわ校歌祭に参加してみませんか。詳しくはP7を参照のこと。



### 同期会への祝金

同期会を開催する場合、同窓会から祝金1万円を贈呈。手続きは次の役員に実施計画書・報告書(A4判1枚)を請求し提出してください。

●秦野 高橋昇三(支部長)

秦野市下大槻799-7

### 平成29年度全国大会

#### 支援金振込者

0463-77-0694

●伊勢原 田中信一(副会長)

伊勢原市桜台1-36-12

0463-94-4564

●平塚 小川喜久雄(支部長)

平塚市岡崎2702

0463-58-2329

### 春の異動

次の先生方が転退職されました。長い間、ありがとうございました。ございました。(敬称略)

#### 【退職】

神戸 秀巳 久保寺忠夫

柏木 真人 安藤 謙市

川口 駿 磯崎 恵子

鳴原ふみ子 相原 芳夫

清水 浩

#### 【転任】

岡部 道生(山北)

美馬 亮太郎(伊勢原)

瀬賀 陽平(座間)

猪俣 照美(平塚湘風)

伊藤 凜平(足柄)  
福重 茜(高校教育課)

### 叙 勲

おめでとうございます。(敬称略)

瑞宝双光章 (敬称略)

村沢 光彦(中19回)

(元公立小学校長)

### 物故者

慎んでお悔やみ申し上げます。

#### 【旧職員】(敬称略)

二見 修次(昭59-62) 校長

池田正一郎(昭25-42) 国語

長谷川文夫(昭46-平9) 社会

#### 【会員】(敬称略)

中7宮本典信 高3飯田善雄

中12佐野克己 高4小泉 堯

中16西山有二 高4古川秀男

中17石田 保 高4桐山義秋

高2鈴野朝喜 高4中村明光

高3小室 実 高5大島経夫

### 編集後記

広陵47号をお届けします。現在発行している広陵も半世紀近くなってきました。

広陵についていろいろなご意見をいただいております。例えば、字の大きさ、写真の大きさ、また費用面など。

改善しなければならぬことを一つずつ検討してよりよい広陵が発行できるようにしたいと考えていますので、今後もよろしく願います。

### ●お詫びと訂正

●本誌46号(6頁、創立90周年記念事業醸金者名簿)で、総合計の表のなか、平成27年4月13日を平成26年5月26日に訂正し、お詫びさせていただきます。

ただきます。



### 秦野高等学校同窓会

#### 会報委員会

〒257-0004 秦野市下大槻一三番地 県立秦野高等学校内

ホームページアドレス 振替口座 00120-8-22689

<http://www.koryokai.info/>

発行責任者

畑野公保(高7)

北村 卓(高20)

山口雅弘(高14)

小椋義一(高19)

小泉広澄(高17)

小林 充(高5)

成田勝也(高37)

山口知英(高33)

### 会計報告

#### 平成29年度全国大会支援金収支決算報告

収入(繰越金)	1,722,451円
支出(派遣費、手数料)	260,102円
残金(繰越金)	1,462,349円

今後とも、よろしく御支援のほど、お願い申し上げます。なお、今年度から派遣援助金振込用紙を同封させていただきます。